

## ICT を活用した救急搬送時の 情報共有効率化に向けた実証を開始します ー 公民連携実証プロジェクト推進事業 ー

堺市では、救急搬送時に必要な情報をより早く、正確に医療機関に伝えるため、ICT を活用した実証プロジェクトを開始します。

令和 7 年 8 月 29 日付け報道提供資料のとおり、公民連携実証プロジェクト推進事業で選定した SHANRI 株式会社との協定に基づき、救急搬送時の情報共有の効率化に取り組みます。

### 1 期間

令和 8 年 1 月 13 日（火）～3 月 31 日（火）

### 2 参加救急隊

堺市消防局救急ワークステーション所属の救急隊（特別救急隊、救急ワークステーション救急隊）

### 3 実証概要

救急現場の情報をリアルタイムで医療機関へ共有する仕組みの検証に加え、災害時の多数の傷病者情報を一元管理できる運用方法を評価し、搬送判断と連携体制の向上をめざします。

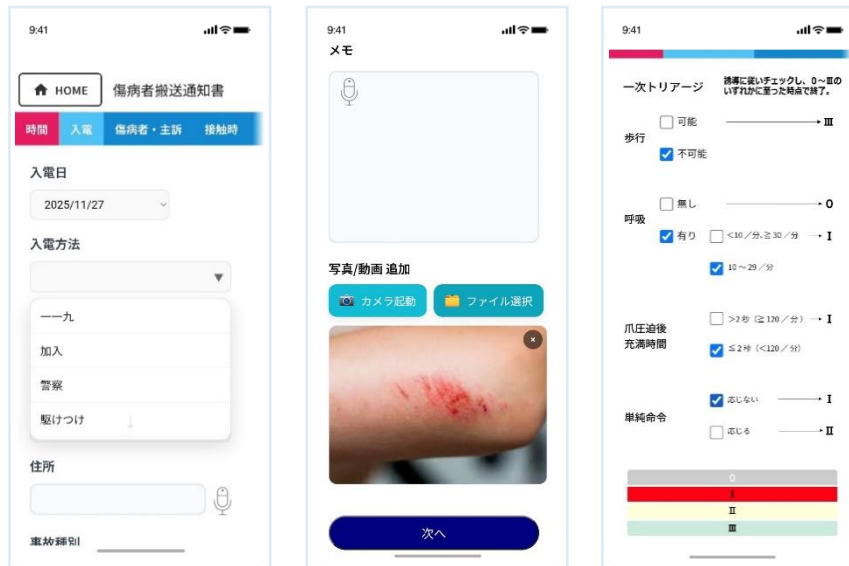
### 4 導入システムの主な機能

#### （1）傷病者搬送通知書のデジタル化

- これまで指定用紙に記載していた「傷病者搬送通知書」を専用 Web アプリで入力
- 時刻の自動記録、スクロール選択、音声入力、画像添付（OCR 対応）等により入力を簡便化
- 入力データは、URL、二次元コード等で医療機関に即時共有可能
- 紙による記載をアプリ入力へ移行することで、記録ミスや書類の汚損リスクを低減し、搬送先での受入準備を迅速化

#### （2）トリアージタグのデジタル化

- 災害現場で使用する紙のトリアージタグを電子化
- 重症度分類（赤・黄・緑・黒）の一覧表を自動作成
- 多数の傷病者情報をリアルタイムで共有し、搬送優先度や医療機関との連携を迅速化



## 5 連携事業者

SHANRI 株式会社（東京都渋谷区桜丘町 18-4 二宮ビル 1 階-64 代表取締役 坂井 香璃 氏）

## 6 公民連携実証プロジェクト推進事業

堺市では、社会情勢の変化により行政が直面する課題やニーズが多様化・複雑化する中、行政だけでは解決が難しい幅が広い複層的な課題に対して、民間事業者からの提案を募集し、本市と連携して実証プロジェクトを実施しています。

## 7 その他

本取組の詳細は、以下の堺市ホームページをご確認ください。

<https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/bosai/shobo/shimin/kyukyu/ict.html>

問い合わせ先	<p>（救急搬送時等における情報共有の効率化に関すること）</p> <p>担 当 課：消防局 救急部 救急ワークステーション</p> <p>電 話：072-272-9119</p> <p>ファックス：072-272-7800</p>
	<p>（公民連携実証プロジェクト推進事業に関すること）</p> <p>担 当 課：市長公室 政策企画部 公民連携課</p> <p>電 話：072-228-0289</p> <p>ファックス：072-222-9694</p> <p>さかいの未来を共に創るために。 <b>Connect with...</b> さかい・コネクテッド・デスク</p>